

産業連携ネットワーク交流会（農観連携）レポート

平成26年6月19日、農林水産省で開催



農山漁村の魅力と観光需要が結び付いた日本のブランド確立に向けて



写真提供:特定非営利活動法人遠野山・里・暮らしネットワーク

平成26年1月、農林水産省と観光庁は「農観連携の推進協定」を締結しました。これを受け、「農観連携による農山漁村の活性化について」をテーマに、産業連携ネットワーク交流会が開催されました。同ネットワークは、「多様な産業分野が有する様々な知見の共有と創発によりイノベーションをすすめる場」として平成23年12月に設立。7月31日現在、1,279の団体・企業・個人が参加しています。

今回の交流会は、農観連携を推進する上での課題解決の糸口を探るとともに、ノウハウ共有を図ることを目的として開催されました。冒頭で、農林水産省、観光庁双方から協定についての説明があった後、株式会社JTB総合研究所コンサルティング第一部長篠崎氏から、北海道奥尻島における取組を例に、農林水産業と観光の連携の可能性や課題についての発表がありました。

続いて、フードバレーとかち推進協議会（帯広市役所産業連携室主任）奥村氏、一般社団法人雪国観光圏代表理事井口氏、NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク会長菊池氏から、それぞれの事業の経緯や成果、課題などが発表されました。また、株式会社農林漁業成長産業化支援機構投融资本部長岸氏から、農観連携支援策として農林漁業成長産業化ファンドの説明がありました。

第6次産業化ポータルサイト 第6チャンネル

www.6-ch.jp/

6次産業化の取組を支援するポータルサイトとして、これからも情報発信していきます!



フリーペーパーのご案内

本誌のバックナンバーをダウンロードできます。是非ご覧ください。

▼フリーペーパーのダウンロードはこちらから
https://www.6-ch.jp/fp_contact/

▼メルマガ会員登録はこちらから
<https://www.6-ch.jp/melmaga/>

▼農林水産省食料産業局フェイスブック
<https://www.facebook.com/maff.shokusan>

■バックナンバーの印刷物をご希望の方は、第6チャンネル（Webサイト）のTOPページ「お問合せ」より、「詳細」欄に「フリーペーパー希望」とご明記の上、ご希望の号数と送付先、郵便番号をご連絡下さい。送料実費にてお送りいたします。なお、数に限りがございますので、在庫が無いバックナンバーにつきましては、印刷費、送料実費にてご提供いたしますので、ご相談下さい。



編集後記

枇杷倶楽部のノウハウがベトナムで活かされている。平成25年度、千葉県南房総市はジャイカの草の根技術協力事業（地域提案型）に採択され、「道の駅」を基盤とした、農業の第6次産業化による地域振興」をテーマに、ベトナムのクアンナム省で3年間にわたる事業に取り組んでいる。以前にも、「日越地方市民団体交流事業」に参画、現地で道の駅設立を支援している。

この事業では、「道の駅が、安全野菜や特産物の販売推進基盤としてより充実し、加工事業や推奨品制度の整備を行い、さらに、集荷・販売・配送を共同化させて販路を拡大し、農家の自立と所得向上、雇用の拡大を促す」という地域全体に及ぶ課題解決の具体的な手法の定着化を図る。

枇杷倶楽部がオープンして約20年、築いてきた地域の農業振興、商品開発、販路拡大などの仕組みが海外でも地域活性化に役立っている。

編集長 奥野 俊志

6次産業化フリーペーパー

「第6チャンネル」vol.10（2014年9月発行）

編集人：奥野俊志

編集・取材：奥野俊志、河原木徹、管野康子、浦岡伸行、金森真粧美

デザイン：安野真由美

制作協力：平成ソフト

表紙写真提供：三浦雅之（株式会社 粟）

